

日々新聞

けしき新かんて申せし惜死盗賊密夫
 欠落と美争のツも有ませぬわ他者ゆ
 心配いしあし今日ハ瑜らハ自安
 出ハアハた是ハ備中淡口郡の長尾村
 小野亀吉此後家おて教今年二十と
 八才あつた十六才小亀吉ハ嫁まアてか
 子を明治二年に産まア一たが其時多
 亀吉ハ癩病とらふ症やハ日々府も
 心にくさぬお春の貞實ハ乳呑子かへて
 髪を結ひこづらの賃錢ハ細烟り探と
 共小立る身を不便と思ひ父母ハ離別せ
 よその進む水之道を尋アてうけひる日
 日を送りし去年の秋夫亀吉死ハたれハ
 又りや再縁もくめても此初子が夫のかみ此子に
 家名をつがせぬハ何面目に冥土のあつと見や
 災して得心せざるとい是れ我ハ心の養入もあ
 正後堂九化池



正後堂九化池

富士屋権
歌九一

